

定例公安委員会の開催概要

定例公安委員会は、令和元年10月16日（水）に開催されました。

1 決裁事項

- ・ 監査結果に関する報告について
- ・ 被留置者に係る警察本部長に対する苦情の調査結果について
- ・ 指定自動車教習所の廃業等について

2 報告事項

(1) 令和元年9月中の「苦情」の取扱いについて

県警察から、令和元年9月中の「苦情」の取扱いに関する報告があった。

苦情受理件数は2件で、警察宛てであった。

苦情の内容は、「警察官の言動に関するもの」2件であるとのことであった。

委員から、『警察官にとっては、日常的で通常どおりの活動・言動と思うことでも、受け取る方は初めてであったり、緊張したりする。丁寧な説明が必要である。』との発言があった。

(2) 警察庁による監察の受監結果について

県警察から、警察庁による監察の受監結果に関する報告があった。

6月13日及び14日の2日間、警察本部及び警察署を対象として実施された「警察施設における安全確保等に向けた取組の推進状況」及び「非違事案防止対策の推進状況」に関する監察について、警察庁より通知があり、実施結果についての評価は、「評価基準を満たしている」とのことであった。

委員から、『指導を受けた具体的な項目については、適切に対応をお願いします。』との発言があった。

(3) 仙北市内における死亡ひき逃げ事件被疑者の逮捕について

県警察から、仙北市内における死亡ひき逃げ事件被疑者の逮捕に関する報告があった。

10月8日に仙北市内で発生した死亡ひき逃げ事件について、捜査した結果、10月14日午前1時49分、仙北警察署において被疑者を通常逮捕したとのことであった。

委員から、『今回の事故は悪質であり、徹底した捜査をお願いします。人命救助が第一であることを県民にしっかりと啓発していただきたい。』との発言があった。

(4) 台風19号に伴う警察職員の特別派遣について

県警察から、台風19号に伴う警察職員の特別派遣に関する報告があった。

委員から、『大変な状況にある宮城県丸森町に派遣されるが、二次被害に十分注意して任務に当たっていただきたい。』との発言があった。